

社会福祉施設事業者・社会福祉施設で働く皆さまへ

人材確保のためにも・ケガしないためにも



安全・安心な施設づくりに取り組みましょう（その4）

腰痛災害の防止について

労災の主な原因はこんなふうになっているよ。

労災の発生件数

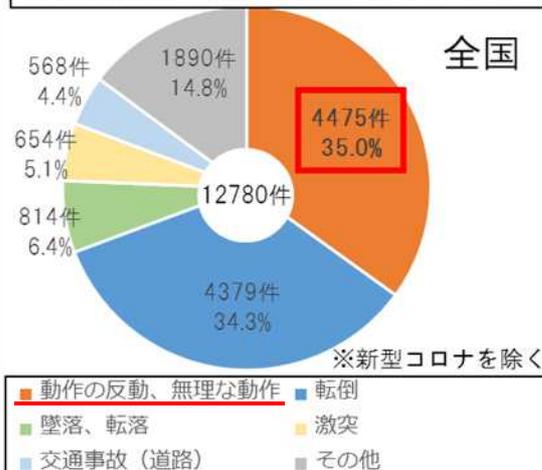
1	転倒	3321人
2	動作の反動・無理な動作	3186人
3	墜落・転落	625人
4	交通事故	543人
5	衝突	438人

参考：厚生労働省「平成30年労働災害発生状況の分析等 / 保健衛生業（うち社会福祉施設）」（2019年5月）

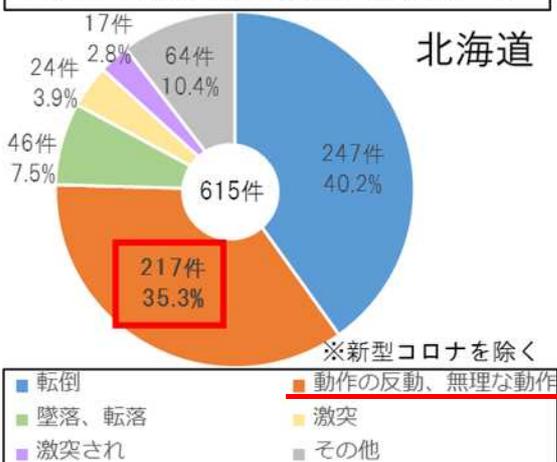
「転倒」と、「動作の反動・無理な動作」が圧倒的に多いんだね…。

出典：まんがでわかる介護業の安全衛生（厚生労働省）

社会福祉施設の事故の型別労災内訳（令和4年）



社会福祉施設の事故の型別労災内訳（令和4年）

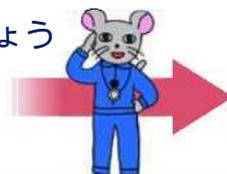


令和4年に発生した社会福祉施設の労働災害（新型コロナウイルスを除く）について、全国では「動作の反動・無理な動作」（腰痛に関連した事故の型）が最も多くの割合を占め、北海道でも2番目に多くの割合を占めています。

「ノーリフトノーケア」の導入により介護職員の負担軽減を目指しましょう

安心・安全な施設づくりのために、裏面の対策に取り組みましょう

厚生労働省 北海道労働局



利用者・従業員の 安心・安全な施設づくりのため 下記の対策に取り組みましょう（その4）

「ノーリフトノーケア」の実現のために・・・

介護ロボット等の活用を検討しましょう



（写真左）介護ロボット

非装着型の移乗支援装置。ベッドから車いすへの移乗や排泄介助等の補助をする。電力により稼働し、長時間の介助や被介助者の不意の動きによる腰痛リスクを軽減させる。



（写真右）パワーアシストスーツ

装着型の移乗支援装置。適切な立位保持により、腰部へ過度な負担がかかるリスクを減少させる。写真の装置は電力を使用せず、空気圧により姿勢を保持する。



写真提供：株式会社マルベリー

上記以外にも様々な介護ロボット等の 見学が可能です

見学可能時間

9時30分～16時30分（土日祝は休館）

場所

北海道医師会館

（北海道札幌市中央区大通西6丁目）

ご連絡先

080-1879-6936

本部事務局

社会福祉法人 北海道社会福祉協議会

北海道介護ロボット普及推進センター

（北海道札幌市中央区北2条西7丁目
1番地 かでる2・7）

安全で安心な店舗・施設づくりに取り組みましょう！
詳しくはこちらをチェック！

